

ウクライナ侵略を断固糾弾する ロシアは軍事作戦を直ちに中止せよ

2022年2月24日 日本共産党幹部会委員長 志位和夫

一、ロシアは24日、一方的に「独立」承認したウクライナの東部地域にロシア軍を侵入させるとともに、ウクライナ各地の軍事施設、キエフ、オデッサなどへの攻撃を始めた。ウクライナの主権と領土を侵し、国連憲章、国際法を踏みにじる、まぎれもない侵略行為であり、断固糾弾する。ただちに軍事行動を止め、撤退させることを強く求める。国際社会がロシアのウクライナ侵略反対の一点で団結し、侵略を止めさせることを呼びかける。

一、プーチン大統領は同日の演説で、今回の軍事行動はウクライナ東部地域の「要請」を受けたもので、国連憲章51条の「集団的自衛」だとしている。一方的に「独立」を認めた地域・集団との集団的自衛などありえず、国際法上まったく根拠がない暴論である。大統領はまた、ウクライナの「脱軍事化、脱ナチス化」を進めるとのべ、東部にとどまらず、ウクライナ全土でロシア軍を展開させる構えを見せている。ロシア国防省はウクライナの各地の軍事施設への攻撃も明らかにした。ウクライナを独立国・主権国家として認めない態度であり、厳しく非難する。

一、プーチン大統領は、この侵略行為にあたって、ロシアが核兵器大国であることを誇示し、欧米の批判や制裁の動きに対抗する姿勢を見せている。核兵器で世界の諸国を威嚇するものであり、今日の世界において、決して許されるものではなく、怒りを込めて糾弾する。

ご報告 この間、青梅市に求めていた問題について、以下の通りになりました。

- ◆コロナまん延のため、保育園の登園自粛協力依頼に協力していただいた園児については、保育料が「日割り減額」されることになりました。
- ◆霞台小学校のプールは、来年度予算案に修理(塗装)の予算が計上されました。夏に間に合う見通しです。



なんでも相談・法律相談
随時、ご相談ください

活動
報告

2022年2月25日号
ご連絡は 090-8489-5260
inouetakashi99@gmail.com



日本共産党
参議院議員(東京選挙区)
山添 拓



@inoue_9

青梅市議会議員

井上たかし

